

# 平成 30 年度 病院事業決算状況

都道府県名 山梨県

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	中央病院	2
-	北病院	3
甲府市	甲府病院	4
富士吉田市	国保市立病院	5
都留市	都留市立病院	6
山梨市	牧丘病院	7
大月市	中央病院	8
韮崎市	国保市立病院	9
北杜市	塩川病院	10
北杜市	甲陽病院	11
上野原市	上野原市立病院	12
甲州市	勝沼病院	13
身延町早川町国民健康保険病院一部組合	飯富病院	14
峡南医療センター企業団	市川三郷病院	15
峡南医療センター企業団	富士川病院	16

<b>病院事業決算状況</b> ( 30 年度 )		都道府県名	山梨県
		市町村・組合名	
		病院名	中央病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 ( %・日 )				
区分	病床数	30 年度	29 年度	28 年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	834,930	
決算規模(千円)	445,137,451	
標準財政規模(千円)	258,035,370	
財政力指数	0.41833	
経常収支比率(%)	94.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.8
	将来負担比率(%)	206.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	49.8
材料費	-	-	24.1	28.0
(うち薬品費)	-	-	12.6	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	12.8
減価償却費	-	-	9.2	8.3
経費	-	-	23.2	20.7
(うち委託料)	-	-	11.3	11.4
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.6	1.4
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		98.2	99.5
医業収支比率	-		88.3	92.8
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.5	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	10.3
他会計繰入金対総収益比率	-		12.5	9.0
実質収益対経常費用比率	-		86.0	90.4

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30 年度	-	-
29 年度	-	-
28 年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)		都道府県名	山梨県
		市町村・組合名	
		病院名	北病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	834,930	
決算規模(千円)	445,137,451	
標準財政規模(千円)	258,035,370	
財政力指数	0.41833	
経常収支比率(%)	94.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.8
	将来負担比率(%)	206.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	96.0
材料費	-	-	24.1	8.6
(うち薬品費)	-	-	12.6	6.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	1.0
減価償却費	-	-	9.2	12.5
経費	-	-	23.2	34.0
(うち委託料)	-	-	11.3	16.5
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.6	3.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		98.2	100.0
医業収支比率	-		88.3	65.9
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.5	34.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	53.9
他会計繰入金対総収益比率	-		12.5	33.9
実質収益対経常費用比率	-		86.0	66.0

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度 )</b>				都道府県名	山梨県
				市町村・組合名	甲府市
				病院名	甲府病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	28,066 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨が感災輪		
診療科数	31	看護配置	7:1		
許可公営企業	許可	経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	402	72.2	75.1	74.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	-	-
計	408	71.1	74.0	73.6
平均在院日数（一般病床のみ）		13.1	13.8	13.4

設立団体の状況		
人口（人）	193,125	
決算規模（千円）	72,632,262	
標準財政規模（千円）	41,894,649	
財政力指数	0.78	
経常収支比率（%）	96.1	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	6.6
	将来負担比率（%）	80.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	84.9
修正医業収支金額（千円）	7,521,267

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,687,119			
1 経常収益	8,687,119			
(1) 医業収益	7,842,968			
入院収益	5,001,182			
外来収益	2,156,525			
診療収入計	7,157,707			
その他医業収益	685,261			
(うち他会計負担金)	321,701			
(2) 医業外収益	844,151			
(うち国・都道府県補助金)	21,667			
(うち他会計補助・負担金)	728,740			
(うち長期前受金戻入)	27,920			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,375,841			
2 経常費用	9,375,841			
(1) 医業費用	8,862,305			
職員給与費	4,837,339	61.7	56.0	54.1
材料費	1,587,050	20.2	24.1	26.3
(うち薬品費)	833,186	10.6	12.6	13.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	753,864	9.6	11.1	12.3
減価償却費	475,584	6.1	9.2	8.3
経費	1,924,162	24.5	23.2	19.0
(うち委託料)	1,037,635	13.2	11.3	9.1
研究研修費	30,368			
資産減耗費	7,802			
(2) 医業外費用	513,536			
(うち支払利息)	166,100	2.1	1.6	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-688,722			
純損益	-688,722			
累積欠損金	12,882,856			
経常収支比率	92.7		98.2	99.3
医業収支比率	88.5		88.3	92.3
他会計繰入金対経常収益比率	12.1		12.5	9.9
他会計繰入金対医業収益比率	13.4		14.6	11.2
他会計繰入金対総収益比率	12.1		12.5	9.9
実質収益対経常費用比率	81.5		86.0	89.4

備考：  
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	12,617,584
1 固定資産	11,043,638
(1) 有形固定資産	11,005,199
(2) 無形固定資産	2,273
(3) 投資その他の資産	36,166
2 流動資産	1,573,946
(1) 現金及び預金	135,232
(2) 未収金及び未収収益	1,338,099
(3) 貸倒引当金（ ）	6,802
(4) 貯蔵品	104,443
3 繰延資産	-
負債合計	11,199,081
1 固定負債	7,019,147
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,019,147
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	3,819,145
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	925,574
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	307,715
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	1,950,000
(8) 未払金及び未払費用	585,472
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	360,789
(1) 長期前受金	842,489
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	481,700
資本合計	1,418,503
1 資本金	14,199,930
2 剰余金	-12,781,427
(1) 資本剰余金	101,429
(2) 利益剰余金	-12,882,856
負債・資本合計	12,617,584
不良債務	1,319,625
実質資金不足額	1,319,625
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,050,441	1,050,441
資本勘定繰入	551,714	462,128
計	1,602,155	1,512,569

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	1,319,625	16.8
29年度	691,092	8.6
28年度	256,197	3.2

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	164.3
健全化法上の資金不足額（千円）	1,319,625
健全化法上の資金不足比率（%）	16.8
地財法上の資金不足額（千円）	1,319,625
地財法上の資金不足比率（%）	16.8

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	山梨県
	市町村・組合名	富士吉田市
	病院名	国保市立病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	256	80.7	84.3	84.8
療養	50	37.2	56.9	74.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	310	72.6	78.8	82.0
平均在院日数(一般病床のみ)		10.0	11.9	11.7

設立団体の状況		
人口(人)	49,003	
決算規模(千円)	21,565,767	
標準財政規模(千円)	10,665,302	
財政力指数	0.70	
経常収支比率(%)	83.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.6
	将来負担比率(%)	34.9

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透Iガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	23,358 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救が感災輪
診療科数	22	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上~400床未満

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	88.0
修正医業収支金額(千円)	6,494,990

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,504,905			
1 経常収益	7,385,840			
(1) 医業収益	6,608,316			
入院収益	4,083,724			
外来収益	2,055,143			
診療収入計	6,138,867			
その他医業収益	469,449			
(うち他会計負担金)	113,326			
(2) 医業外収益	777,524			
(うち国・都道府県補助金)	591			
(うち他会計補助・負担金)	483,291			
(うち長期前受金戻入)	255,162			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	119,065			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,703,718			
2 経常費用	7,703,718			
(1) 医業費用	7,381,684			
職員給与費	3,911,128	59.2	56.0	57.1
材料費	1,566,507	23.7	24.1	23.9
(うち薬品費)	743,798	11.3	12.6	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	816,040	12.3	11.1	11.4
減価償却費	495,670	7.5	9.2	9.5
経費	1,387,427	21.0	23.2	22.0
(うち委託料)	864,861	13.1	11.3	10.8
研究研修費	19,778			
資産減耗費	1,174			
(2) 医業外費用	322,034			
(うち支払利息)	76,400	1.2	1.6	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-317,878			
純損益	-198,813			
累積欠損金	700,083			
経常収支比率	95.9		98.2	96.7
医業収支比率	89.5		88.3	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	8.1		12.5	11.7
他会計繰入金対医業収益比率	9.0		14.6	13.5
他会計繰入金対総収益比率	7.9		12.5	11.7
実質収益対経常費用比率	88.1		86.0	85.4

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,002,737
1 固定資産	7,068,886
(1) 有形固定資産	7,044,028
(2) 無形固定資産	2,764
(3) 投資その他の資産	22,094
2 流動資産	2,933,851
(1) 現金及び預金	1,217,625
(2) 未収金及び未収収益	1,637,518
(3) 貸倒引当金( )	12,733
(4) 貯蔵品	91,441
3 繰延資産	-
負債合計	7,567,668
1 固定負債	4,173,891
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,267,886
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	659,179
(7) リース債務	246,826
2 流動負債	1,250,262
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	275,170
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	212,895
(6) リース債務	156,767
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	602,787
(9) 前受金及び前受収益	2,643
3 繰延収益	2,143,515
(1) 長期前受金	9,225,927
(2) 長期前受金収益化累計額( )	7,082,412
資本合計	2,435,069
1 資本金	3,090,168
2 剰余金	-655,099
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-655,099
負債・資本合計	10,002,737
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	760,551	596,617
資本勘定繰入	179,995	179,994
計	940,546	776,611

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	10.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度)</b>				都道府県名	山梨県
				市町村・組合名	都留市
				病院名	都留市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,359 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救地輪		
診療科数	14	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	140	53.1	58.5	56.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	140	53.1	58.5	56.8
平均在院日数(一般病床のみ)		11.7	12.9	12.9

設立団体の状況		
人口(人)	32,002	
決算規模(千円)	13,180,872	
標準財政規模(千円)	8,796,111	
財政力指数	0.49	
経常収支比率(%)	86.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.2
	将来負担比率(%)	20.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	79.2
修正医業収支金額(千円)	2,111,130

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,697,311			
1 経常収益	2,697,311			
(1) 医業収益	2,123,651			
入院収益	1,072,082			
外来収益	969,197			
診療収入計	2,041,279			
その他医業収益	82,372			
(うち他会計負担金)	12,521			
(2) 医業外収益	573,660			
(うち国・都道府県補助金)	25,179			
(うち他会計補助・負担金)	92,561			
(うち長期前受金戻入)	44,345			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,250,976			
2 経常費用	3,250,675			
(1) 医業費用	2,665,540			
職員給与費	1,329,178	62.6	56.0	61.8
材料費	468,325	22.1	24.1	17.7
(うち薬品費)	224,387	10.6	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	243,938	11.5	11.1	8.2
減価償却費	223,633	10.5	9.2	10.4
経費	633,791	29.8	23.2	29.9
(うち委託料)	306,506	14.4	11.3	12.9
研究研修費	3,535			
資産減耗費	7,078			
(2) 医業外費用	585,135			
(うち支払利息)	10,092	0.5	1.6	1.7
(3) 特別損失	301			
損益				
経常損益	-553,364			
純損益	-553,665			
累積欠損金	467,191			
経常収支比率	83.0		98.2	96.7
医業収支比率	79.7		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	3.9		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	4.9		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	3.9		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	79.7		86.0	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,292,561
1 固定資産	3,620,124
(1) 有形固定資産	3,476,291
(2) 無形固定資産	143,833
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	672,437
(1) 現金及び預金	318,356
(2) 未収金及び未収収益	335,950
(3) 貸倒引当金( )	5,930
(4) 貯蔵品	24,061
3 繰延資産	-
負債合計	2,541,344
1 固定負債	1,309,448
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	703,834
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	605,614
(7) リース債務	-
2 流動負債	504,487
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	98,110
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	114,603
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	291,774
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	727,409
(1) 長期前受金	2,239,270
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,511,861
資本合計	1,751,217
1 資本金	1,415,723
2 剰余金	335,494
(1) 資本金剰余金	367,613
(2) 利益剰余金	-32,119
負債・資本合計	4,292,561
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	105,082	105,082
資本勘定繰入	74,569	74,569
計	179,651	179,651

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	22.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)		都道府県名	山梨県
		市町村・組合名	山梨市
		病院名	牧丘病院
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	1,458 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救 輪
診療科数	5	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	30	58.2	66.1	67.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	30	58.2	66.1	67.1
平均在院日数(一般病床のみ)		17.0	18.7	19.0

設立団体の状況		
人口(人)	35,141	
決算規模(千円)	19,347,637	
標準財政規模(千円)	10,106,636	
財政力指数	0.42	
経常収支比率(%)	90.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.0
	将来負担比率(%)	118.4

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	19,585			
1 経常収益	19,585			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	19,585			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	19,240			
(うち長期前受金戻入)	345			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	19,240			
2 経常費用	19,240			
(1) 医業費用	4,226			
職員給与費	-	-	56.0	81.3
材料費	-	-	24.1	14.4
(うち薬品費)	-	-	12.6	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	5.1
減価償却費	4,226	-	9.2	13.4
経費	-	-	23.2	47.5
(うち委託料)	-	-	11.3	20.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	15,014			
(うち支払利息)	14	-	1.6	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	345			
純損益	345			
累積欠損金	37,272			
経常収支比率	101.8		98.2	96.3
医業収支比率	-		88.3	63.4
他会計繰入金対経常収益比率	98.2		12.5	32.8
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	53.9
他会計繰入金対総収益比率	98.2		12.5	33.3
実質収益対経常費用比率	1.8		86.0	64.8

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	425,557
1 固定資産	405,128
(1) 有形固定資産	405,128
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	20,429
(1) 現金及び預金	20,429
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	4,411
1 固定負債	1,120
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,120
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	160
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	160
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,131
(1) 長期前受金	3,906
(2) 長期前受金収益化累計額( )	775
資本合計	421,146
1 資本金	458,418
2 剰余金	-37,272
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-37,272
負債・資本合計	425,557
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	4,233	19,240
資本勘定繰入	80	80
計	4,313	19,320

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度)</b>				都道府県名	山梨県
				市町村・組合名	大月市
				病院名	中央病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	14,987 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救感へ災輪		
診療科数	15	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	144	43.2	37.5	34.8
療養	49	42.1	49.0	39.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	197	42.1	39.6	35.2
平均在院日数(一般病床のみ)		14.7	11.9	12.7

設立団体の状況		
人口(人)	25,419	
決算規模(千円)	11,488,967	
標準財政規模(千円)	7,818,808	
財政力指数	0.68	
経常収支比率(%)	91.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	17.7
	将来負担比率(%)	146.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	75.7
修正医業収支金額(千円)	2,004,913

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,933,740			
1 経常収益	2,933,740			
(1) 医業収益	2,074,274			
入院収益	919,790			
外来収益	921,875			
診療収入計	1,841,665			
その他医業収益	232,609			
(うち他会計負担金)	69,361			
(2) 医業外収益	859,466			
(うち国・都道府県補助金)	5,947			
(うち他会計補助・負担金)	637,767			
(うち長期前受金戻入)	185,478			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,839,459			
2 経常費用	2,748,163			
(1) 医業費用	2,649,823			
職員給与費	1,201,231	57.9	56.0	61.8
材料費	384,622	18.5	24.1	17.7
(うち薬品費)	264,970	12.8	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	116,390	5.6	11.1	8.2
減価償却費	299,484	14.4	9.2	10.4
経費	754,587	36.4	23.2	29.9
(うち委託料)	297,059	14.3	11.3	12.9
研究研修費	4,889			
資産減耗費	5,010			
(2) 医業外費用	98,340			
(うち支払利息)	31,375	1.5	1.6	1.7
(3) 特別損失	91,296			
損益				
経常損益	185,577			
純損益	94,281			
累積欠損金	2,759,447			
経常収支比率	106.8		98.2	96.7
医業収支比率	78.3		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	24.1		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	34.1		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	24.1		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	81.0		86.0	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,071,409
1 固定資産	4,541,395
(1) 有形固定資産	4,507,498
(2) 無形固定資産	3,541
(3) 投資その他の資産	30,356
2 流動資産	530,014
(1) 現金及び預金	197,501
(2) 未収金及び未収収益	368,803
(3) 貸倒引当金( )	44,966
(4) 貯蔵品	8,675
3 繰延資産	-
負債合計	4,497,355
1 固定負債	2,149,799
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,685,112
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	464,687
(7) リース債務	-
2 流動負債	554,664
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	136,693
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	70,246
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	347,725
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,792,892
(1) 長期前受金	2,730,117
(2) 長期前受金収益化累計額( )	937,225
資本合計	574,054
1 資本金	3,301,488
2 剰余金	-2,727,434
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-2,727,434
負債・資本合計	5,071,409
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	230,728	707,128
資本勘定繰入	102,454	112,054
計	333,182	819,182

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	39,388	1.9
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	133.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	山梨県
	市町村・組合名	韮崎市
	病院名	国保市立病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	137	72.0	67.9	69.1
療養	34	81.1	78.5	79.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	171	73.8	70.0	71.1
平均在院日数(一般病床のみ)		16.6	16.0	18.8

設立団体の状況		
人口(人)	30,680	
決算規模(千円)	15,296,206	
標準財政規模(千円)	8,412,262	
財政力指数	0.67	
経常収支比率(%)	84.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.8
	将来負担比率(%)	70.7

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	10,272 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救 災 輪
診療科数	22	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	93.0
修正医業収支金額(千円)	2,179,831

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,499,908			
1 経常収益	2,499,908			
(1) 医業収益	2,280,609			
入院収益	1,471,618			
外来収益	661,760			
診療収入計	2,133,378			
その他医業収益	147,231			
(うち他会計負担金)	100,778			
(2) 医業外収益	219,299			
(うち国・都道府県補助金)	57,945			
(うち他会計補助・負担金)	81,626			
(うち長期前受金戻入)	62,738			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,505,735			
2 経常費用	2,423,803			
(1) 医業費用	2,342,771			
職員給与費	1,353,589	59.4	56.0	61.8
材料費	413,319	18.1	24.1	17.7
(うち薬品費)	202,443	8.9	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	179,866	7.9	11.1	8.2
減価償却費	156,016	6.8	9.2	10.4
経費	412,661	18.1	23.2	29.9
(うち委託料)	241,400	10.6	11.3	12.9
研究研修費	4,677			
資産減耗費	2,509			
(2) 医業外費用	81,032			
(うち支払利息)	11,103	0.5	1.6	1.7
(3) 特別損失	81,932			
損益				
経常損益	76,105			
純損益	-5,827			
累積欠損金	264,081			
経常収支比率	103.1		98.2	96.7
医業収支比率	97.3		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	7.3		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	8.0		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	7.3		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	95.6		86.0	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,537,408
1 固定資産	1,438,705
(1) 有形固定資産	1,130,658
(2) 無形固定資産	2,263
(3) 投資その他の資産	305,784
2 流動資産	1,098,703
(1) 現金及び預金	732,452
(2) 未収金及び未収収益	347,370
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	18,881
3 繰延資産	-
負債合計	1,810,938
1 固定負債	1,323,369
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	619,214
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	702,292
(7) リース債務	1,863
2 流動負債	247,141
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	57,725
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	75,257
(6) リース債務	2,334
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	110,820
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	240,428
(1) 長期前受金	654,172
(2) 長期前受金収益化累計額( )	413,744
資本合計	726,470
1 資本金	602,839
2 剰余金	123,631
(1) 資本金剰余金	105,406
(2) 利益剰余金	18,225
負債・資本合計	2,537,408
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	182,404	182,404
資本勘定繰入	61,140	61,140
計	243,544	243,544

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	11.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度 )</b>				都道府県名	山梨県
				市町村・組合名	北杜市
				病院名	塩川病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	12,228 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救へ輪		
診療科数	14	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 ( %・日 )				
区分	病床数	30 年度	29 年度	28 年度
一般	54	92.0	93.9	92.7
療養	54	87.5	92.1	95.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	108	89.8	93.0	94.0
平均在院日数(一般病床のみ)		17.9	17.8	17.0

設立団体の状況		
人口(人)	45,111	
決算規模(千円)	28,949,278	
標準財政規模(千円)	19,199,577	
財政力指数	0.44	
経常収支比率(%)	89.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,076,763			
1 経常収益	2,076,763			
(1) 医業収益	1,508,042			
入院収益	900,109			
外来収益	456,546			
診療収入計	1,356,655			
その他医業収益	151,387			
(うち他会計負担金)	60,517			
(2) 医業外収益	568,721			
(うち国・都道府県補助金)	7,965			
(うち他会計補助・負担金)	63,910			
(うち長期前受金戻入)	140,297			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,162,512			
2 経常費用	2,155,702			
(1) 医業費用	1,730,564			
職員給与費	908,258	60.2	56.0	61.8
材料費	250,948	16.6	24.1	17.7
(うち薬品費)	124,959	8.3	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	125,928	8.4	11.1	8.2
減価償却費	276,381	18.3	9.2	10.4
経費	287,094	19.0	23.2	29.9
(うち委託料)	138,944	9.2	11.3	12.9
研究研修費	2,738			
資産減耗費	5,145			
(2) 医業外費用	425,138			
(うち支払利息)	42,873	2.8	1.6	1.7
(3) 特別損失	6,810			
損益				
経常損益	-78,939			
純損益	-85,749			
累積欠損金	-			
経常収支比率	96.3		98.2	96.7
医業収支比率	87.1		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	6.0		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	8.3		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	6.0		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	90.6		86.0	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,611,106
1 固定資産	3,511,648
(1) 有形固定資産	3,495,395
(2) 無形固定資産	654
(3) 投資その他の資産	15,599
2 流動資産	2,099,458
(1) 現金及び預金	1,492,156
(2) 未収金及び未収収益	570,016
(3) 貸倒引当金( )	11,159
(4) 貯蔵品	48,335
3 繰延資産	-
負債合計	4,685,569
1 固定負債	2,965,781
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,889,472
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	75,846
(7) リース債務	463
2 流動負債	686,761
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	351,946
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	139,771
(6) リース債務	2,704
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	186,611
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,033,027
(1) 長期前受金	3,598,444
(2) 長期前受金収益化累計額( )	2,565,417
資本合計	925,537
1 資本金	973,920
2 剰余金	-48,383
(1) 資本金剰余金	165,182
(2) 利益剰余金	-213,565
負債・資本合計	5,611,106
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	83.6
修正医業収支金額(千円)	1,447,525

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	124,427	124,427
資本勘定繰入	85,084	85,084
計	209,511	209,511

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30 年度	-	-
29 年度	-	-
28 年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	8.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度)</b>				都道府県名	山梨県
				市町村・組合名	北杜市
				病院名	甲陽病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,220 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救感輪		
診療科数	10	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 ( %・日 )				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	86	57.9	58.7	62.9
療養	32	70.1	72.6	78.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	122	59.2	60.4	65.0
平均在院日数(一般病床のみ)		17.0	18.7	18.1

設立団体の状況		
人口(人)	45,111	
決算規模(千円)	28,949,278	
標準財政規模(千円)	19,199,577	
財政力指数	0.44	
経常収支比率(%)	89.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,587,591			
1 経常収益	1,587,591			
(1) 医業収益	1,402,256			
入院収益	658,923			
外来収益	610,144			
診療収入計	1,269,067			
その他医業収益	133,189			
(うち他会計負担金)	54,122			
(2) 医業外収益	185,335			
(うち国・都道府県補助金)	1,376			
(うち他会計補助・負担金)	124,201			
(うち長期前受金戻入)	53,646			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,699,534			
2 経常費用	1,689,438			
(1) 医業費用	1,623,209			
職員給与費	1,007,720	71.9	56.0	61.8
材料費	238,775	17.0	24.1	17.7
(うち薬品費)	140,031	10.0	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	98,744	7.0	11.1	8.2
減価償却費	93,963	6.7	9.2	10.4
経費	278,103	19.8	23.2	29.9
(うち委託料)	162,693	11.6	11.3	12.9
研究研修費	3,464			
資産減耗費	1,184			
(2) 医業外費用	66,229			
(うち支払利息)	27,811	2.0	1.6	1.7
(3) 特別損失	10,096			
損益				
経常損益	-101,847			
純損益	-111,943			
累積欠損金	547,088			
経常収支比率	94.0		98.2	96.7
医業収支比率	86.4		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	11.2		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	12.7		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	11.2		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	83.4		86.0	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,611,106
1 固定資産	3,511,648
(1) 有形固定資産	3,495,395
(2) 無形固定資産	654
(3) 投資その他の資産	15,599
2 流動資産	2,099,458
(1) 現金及び預金	1,492,156
(2) 未収金及び未収収益	570,016
(3) 貸倒引当金( )	11,159
(4) 貯蔵品	48,335
3 繰延資産	-
負債合計	4,685,569
1 固定負債	2,965,781
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,889,472
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	75,846
(7) リース債務	463
2 流動負債	686,761
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	351,946
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	139,771
(6) リース債務	2,704
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	186,611
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,033,027
(1) 長期前受金	3,598,444
(2) 長期前受金収益化累計額( )	2,565,417
資本合計	925,537
1 資本金	973,920
2 剰余金	-48,383
(1) 資本金剰余金	165,182
(2) 利益剰余金	-213,565
負債・資本合計	5,611,106
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	83.1
修正医業収支金額(千円)	1,348,134

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	178,323	178,323
資本勘定繰入	84,054	84,054
計	262,377	262,377

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	8.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	山梨県
	市町村・組合名	上野原市
	病院名	上野原市立病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	9,542 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨 輪
診療科数	17	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	対象	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	135	46.3	47.2	55.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	135	46.3	47.2	55.3
平均在院日数(一般病床のみ)		13.7	14.8	18.3

設立団体の状況		
人口(人)	24,805	
決算規模(千円)	10,267,282	
標準財政規模(千円)	7,414,472	
財政力指数	0.50	
経常収支比率(%)	89.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.2
	将来負担比率(%)	69.5

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	262,583			
1 経常収益	262,550			
(1) 医業収益	26,614			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	26,614			
(うち他会計負担金)	26,614			
(2) 医業外収益	235,936			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	172,604			
(うち長期前受金戻入)	62,506			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	33			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	394,968			
2 経常費用	394,968			
(1) 医業費用	390,510			
職員給与費	-	-	56.0	61.8
材料費	-	-	24.1	17.7
(うち薬品費)	-	-	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	8.2
減価償却費	234,635	881.6	9.2	10.4
経費	152,398	572.6	23.2	29.9
(うち委託料)	150,012	563.7	11.3	12.9
研究研修費	-			
資産減耗費	3,477			
(2) 医業外費用	4,458			
(うち支払利息)	2,675	10.1	1.6	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-132,418			
純損益	-132,385			
累積欠損金	132,385			
経常収支比率	66.5		98.2	96.7
医業収支比率	6.8		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	75.9		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	748.5		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	75.9		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	16.0		86.0	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,038,531
1 固定資産	2,739,230
(1) 有形固定資産	2,717,683
(2) 無形固定資産	1,301
(3) 投資その他の資産	20,246
2 流動資産	299,301
(1) 現金及び預金	297,708
(2) 未収金及び未収収益	1,593
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	1,713,872
1 固定負債	1,052,685
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,052,685
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	97,473
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	96,558
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	543
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	563,714
(1) 長期前受金	882,882
(2) 長期前受金収益化累計額( )	319,168
資本合計	1,324,659
1 資本金	1,434,883
2 剰余金	-110,224
(1) 資本金剰余金	14,061
(2) 利益剰余金	-124,285
負債・資本合計	3,038,531
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	199,218	199,218
資本勘定繰入	42,952	42,952
計	242,170	242,170

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	497.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	山梨県
	市町村・組合名	甲州市
	病院名	勝沼病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	1,991 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救 輪
診療科数	8	看護配置	15:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	51	62.6	65.9	63.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	51	62.6	65.9	63.7
平均在院日数(一般病床のみ)		31.9	39.2	39.6

設立団体の状況		
人口(人)	31,671	
決算規模(千円)	16,807,391	
標準財政規模(千円)	10,078,707	
財政力指数	0.46	
経常収支比率(%)	92.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.8
	将来負担比率(%)	151.5

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	19,532			
1 経常収益	19,532			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	19,532			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	14,832			
(うち長期前受金戻入)	4,700			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	19,463			
2 経常費用	19,463			
(1) 医業費用	18,056			
職員給与費	-	-	56.0	71.8
材料費	-	-	24.1	16.5
(うち薬品費)	-	-	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	5.6
減価償却費	16,616	-	9.2	12.2
経費	1,440	-	23.2	31.2
(うち委託料)	-	-	11.3	12.3
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	1,407			
(うち支払利息)	1,340	-	1.6	1.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	69			
純損益	69			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.4		98.2	97.1
医業収支比率	-		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	75.9		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	75.9		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	24.1		86.0	74.9

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	546,538
1 固定資産	487,770
(1) 有形固定資産	421,564
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	66,206
2 流動資産	58,768
(1) 現金及び預金	58,768
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	104,529
1 固定負債	45,946
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	45,946
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	11,659
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,659
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	46,924
(1) 長期前受金	84,742
(2) 長期前受金収益化累計額( )	37,818
資本合計	442,009
1 資本金	354,507
2 剰余金	87,502
(1) 資本剰余金	66,206
(2) 利益剰余金	21,296
負債・資本合計	546,538
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	12,754	14,832
資本勘定繰入	5,499	5,499
計	18,253	20,331

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度)</b>				都道府県名	山梨県
				市町村・組合名	身延町早川町国民健康保険病院一部組合
				病院名	飯富病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,995 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨 へ 輪		
診療科数	9	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	61	81.0	86.5	89.9
療養	26	90.7	78.4	95.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	87	83.9	84.1	91.5
平均在院日数(一般病床のみ)		26.2	24.2	25.1

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	91.8
修正医業収支金額(千円)	1,235,911

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,718,067			
1 経常収益	1,718,067			
(1) 医業収益	1,235,911			
入院収益	711,520			
外来収益	490,848			
診療収入計	1,202,368			
その他医業収益	33,543			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	482,156			
(うち国・都道府県補助金)	20,328			
(うち他会計補助・負担金)	77,022			
(うち長期前受金戻入)	41,673			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,788,197			
2 経常費用	1,788,197			
(1) 医業費用	1,347,037			
職員給与費	733,369	59.3	56.0	71.8
材料費	238,272	19.3	24.1	16.5
(うち薬品費)	116,294	9.4	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	103,807	8.4	11.1	5.6
減価償却費	140,830	11.4	9.2	12.2
経費	231,094	18.7	23.2	31.2
(うち委託料)	56,280	4.6	11.3	12.3
研究研修費	2,346			
資産減耗費	1,126			
(2) 医業外費用	441,160			
(うち支払利息)	21,037	1.7	1.6	1.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-70,130			
純損益	-70,130			
累積欠損金	70,130			
経常収支比率	96.1		98.2	97.1
医業収支比率	91.8		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	4.5		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	6.2		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	4.5		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	91.8		86.0	74.9

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,608,189
1 固定資産	2,612,929
(1) 有形固定資産	2,596,168
(2) 無形固定資産	491
(3) 投資その他の資産	16,270
2 流動資産	995,260
(1) 現金及び預金	565,260
(2) 未収金及び未収収益	190,651
(3) 貸倒引当金( )	2,000
(4) 貯蔵品	6,830
3 繰延資産	-
負債合計	1,310,485
1 固定負債	539,028
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	533,765
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	5,263
2 流動負債	420,572
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	77,690
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	64,187
(6) リース債務	5,825
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	35,961
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	350,885
(1) 長期前受金	942,479
(2) 長期前受金収益化累計額( )	591,594
資本合計	2,297,704
1 資本金	2,354,889
2 剰余金	-57,185
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-57,185
負債・資本合計	3,608,189
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	225,859	77,022
資本勘定繰入	21,735	21,735
計	247,594	98,757

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	5.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度)</b>				都道府県名	山梨県
				市町村・組合名	峡南医療センター企業団
				病院名	市川三郷病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	5,842 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救 臨 へ 輪		
診療科数	12	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区 分	病床数	30 年 度	29 年 度	28 年 度
一 般	90	29.6	26.2	28.7
療 養	-	-	-	-
結 核	-	-	-	-
精 神	-	-	-	-
感 染 症	-	-	-	-
計	90	29.6	26.2	28.7
平均在院日数（一般病床のみ）		18.9	18.3	19.4

設立団体の状況		
人 口 (人)	-	
決 算 規 模 (千円)	-	
標 準 財 政 規 模 (千円)	-	
財 政 力 指 数	-	
経 常 収 支 比 率 (%)	-	
健全化 判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	-
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率 (%)	78.7
修正医業収支金額 (千円)	931,342

損 益 計 算 書 (千円・%)				
区 分	決 算 額	費 用 医 業 収 益	全 国 平 均	類 似 平 均
総 収 益	1,527,519			
1 経 常 収 益	1,527,519			
(1) 医 業 収 益	931,342			
入 院 収 益	258,766			
外 来 収 益	637,690			
診 療 収 入 計	896,456			
そ の 他 医 業 収 益	34,886			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医 業 外 収 益	596,177			
(うち国・都道府県補助金)	6,156			
(うち他会計補助・負担金)	165,772			
(うち長期前受金戻入)	90,781			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特 別 利 益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総 費 用	1,579,981			
2 経 常 費 用	1,579,981			
(1) 医 業 費 用	1,182,781			
職 員 給 与 費	496,321	53.3	56.0	71.8
材 料 費	185,540	19.9	24.1	16.5
(うち薬品費)	121,101	13.0	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	64,349	6.9	11.1	5.6
減 価 償 却 費	99,381	10.7	9.2	12.2
経 費	399,809	42.9	23.2	31.2
(うち委託料)	144,919	15.6	11.3	12.3
研 究 研 修 費	1,730			
資 産 減 耗 費	-			
(2) 医 業 外 費 用	397,200			
(うち支払利息)	5,781	0.6	1.6	1.9
(3) 特 別 損 失	-			
損 益				
経 常 損 益	-52,462			
純 損 益	-52,462			
累 積 欠 損 金	808,053			
経 常 収 支 比 率	96.7		98.2	97.1
医 業 収 支 比 率	78.7		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	10.9		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	17.8		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	10.9		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	86.2		86.0	74.9

備考：  
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸 借 対 照 表 (千円・%)	
区 分	決 算 額
資 産 合 計	2,682,933
1 固 定 資 産	1,727,959
(1) 有 形 固 定 資 産	1,657,948
(2) 無 形 固 定 資 産	21,559
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産	48,452
2 流 動 資 産	954,974
(1) 現 金 及 び 預 金	306,450
(2) 未 収 金 及 び 未 収 収 益	619,088
(3) 貸 倒 引 当 金 ( )	-
(4) 貯 蔵 品	29,436
3 繰 延 資 産	-
負 債 合 計	2,940,970
1 固 定 負 債	1,359,168
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	703,883
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 再 建 債 ( 特 例 債 含 む )	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) そ の 他 の 長 期 借 入 金	550,000
(6) 引 当 金	103,704
(7) リ ー ス 債 務	1,313
2 流 動 負 債	1,186,748
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	154,147
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(5) 引 当 金	140,761
(6) リ ー ス 債 務	10,850
(7) 一 時 借 入 金	550,000
(8) 未 払 金 及 び 未 払 費 用	311,953
(9) 前 受 金 及 び 前 受 収 益	-
3 繰 延 収 益	395,054
(1) 長 期 前 受 金	1,469,381
(2) 長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額 ( )	1,074,327
資 本 合 計	-258,037
1 資 本 金	333,008
2 剰 余 金	-591,045
(1) 資 本 剰 余 金	380,034
(2) 利 益 剰 余 金	-971,079
負 債 ・ 資 本 合 計	2,682,933
不 良 債 務	77,627
実 質 資 金 不 足 額	77,627
資 本 不 足 額 ( )	258,037
資本不足額（繰延収益控除後） ( )	-
備 考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

他会計からの繰入状況 (千円)		
区 分	基 準 額	実 繰 入 額
収 益 勘 定 繰 入	185,852	165,772
資 本 勘 定 繰 入	38,973	143,423
計	224,825	309,195

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年 度	不 良 債 務 額 (千円)	不 良 債 務 比 率 (%)
30 年 度	77,627	2.4
29 年 度	487,522	15.6
28 年 度	499,811	15.9

資金不足等の状況	
累 積 欠 損 金 比 率 (%)	29.9
健全化法上の資金不足額 (千円)	77,627
健全化法上の資金不足比率 (%)	1.9
地 財 法 上 の 資 金 不 足 額 (千円)	77,627
地 財 法 上 の 資 金 不 足 比 率 (%)	1.9

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	山梨県
	市町村・組合名	峡南医療センター企業団
	病院名	富士川病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	12,893 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨 感 災 輪
診療科数	11	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区 分	病床数	30年度	29年度	28年度
一 般	154	72.1	65.1	62.9
療 養	-	-	-	-
結 核	-	-	-	-
精 神	-	-	-	-
感 染 症	4	-	-	-
計	158	70.2	63.5	61.3
平均在院日数(一般病床のみ)		14.3	13.9	12.9

設立団体の状況		
人 口(人)	-	
決 算 規 模(千円)	-	
標 準 財 政 規 模(千円)	-	
財 政 力 指 数	-	
経 常 収 支 比 率(%)	-	
健全化 判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	95.9
修正医業収支金額(千円)	2,320,210

損 益 計 算 書 (千円・%)				
区 分	決 算 額	費 用 医 業 収 益	全 国 平 均	類 似 平 均
総 収 益	3,184,700			
1 経 常 収 益	3,184,700			
(1) 医 業 収 益	2,320,210			
入 院 収 益	1,484,375			
外 来 収 益	578,526			
診 療 収 入 計	2,062,901			
そ の 他 医 業 収 益	257,309			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医 業 外 収 益	864,490			
(うち国・都道府県補助金)	1,712			
(うち他会計補助・負担金)	227,194			
(うち長期前受金戻入)	135,282			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特 別 利 益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総 費 用	2,990,483			
2 経 常 費 用	2,990,483			
(1) 医 業 費 用	2,419,909			
職 員 給 与 費	1,131,511	48.8	56.0	61.8
材 料 費	411,345	17.7	24.1	17.7
(うち薬品費)	189,723	8.2	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	221,622	9.6	11.1	8.2
減 価 償 却 費	130,410	5.6	9.2	10.4
経 費	743,371	32.0	23.2	29.9
(うち委託料)	256,746	11.1	11.3	12.9
研 究 研 修 費	3,272			
資 産 減 耗 費	-			
(2) 医 業 外 費 用	570,574			
(うち支払利息)	1,773	0.1	1.6	1.7
(3) 特 別 損 失	-			
損 益				
経 常 損 益	194,217			
純 損 益	194,217			
累 積 欠 損 金	163,026			
経 常 収 支 比 率	106.5		98.2	96.7
医 業 収 支 比 率	95.9		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	7.1		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	9.8		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	7.1		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	98.9		86.0	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸 借 対 照 表 (千円・%)	
区 分	決 算 額
資 産 合 計	2,682,933
1 固 定 資 産	1,727,959
(1) 有 形 固 定 資 産	1,657,948
(2) 無 形 固 定 資 産	21,559
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産	48,452
2 流 動 資 産	954,974
(1) 現 金 及 び 預 金	306,450
(2) 未 収 金 及 び 未 収 収 益	619,088
(3) 貸 倒 引 当 金 ( )	-
(4) 貯 蔵 品	29,436
3 繰 延 資 産	-
負 債 合 計	2,940,970
1 固 定 負 債	1,359,168
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	703,883
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 再 建 債 ( 特 例 債 含 む )	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) そ の 他 の 長 期 借 入 金	550,000
(6) 引 当 金	103,704
(7) リ ー ス 債 務	1,313
2 流 動 負 債	1,186,748
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	154,147
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(5) 引 当 金	140,761
(6) リ ー ス 債 務	10,850
(7) 一 時 借 入 金	550,000
(8) 未 払 金 及 び 未 払 費 用	311,953
(9) 前 受 金 及 び 前 受 収 益	-
3 繰 延 収 益	395,054
(1) 長 期 前 受 金	1,469,381
(2) 長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額 ( )	1,074,327
資 本 合 計	-258,037
1 資 本 金	333,008
2 剰 余 金	-591,045
(1) 資 本 剰 余 金	380,034
(2) 利 益 剰 余 金	-971,079
負 債 ・ 資 本 合 計	2,682,933
不 良 債 務	77,627
実 質 資 金 不 足 額	77,627
資 本 不 足 額 ( )	258,037
資本不足額(繰延収益控除後) ( )	-
備 考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区 分	基 準 額	実 繰 入 額
収 益 勘 定 繰 入	280,279	227,194
資 本 勘 定 繰 入	26,754	76,374
計	307,033	303,568

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年 度	不 良 債 務 額(千円)	不 良 債 務 比 率(%)
30 年 度	77,627	2.4
29 年 度	487,522	15.6
28 年 度	499,811	15.9

資金不足等の状況	
累 積 欠 損 金 比 率(%)	29.9
健全化法上の資金不足額(千円)	77,627
健全化法上の資金不足比率(%)	1.9
地 財 法 上 の 資 金 不 足 額(千円)	77,627
地 財 法 上 の 資 金 不 足 比 率(%)	1.9

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。